

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第3週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

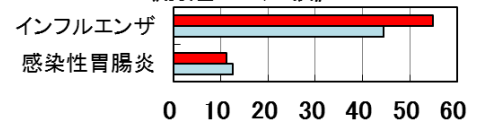
1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。
 4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	—	
		延岡	50歳代	男	無症状病原体保有者	—	
		日南	80歳代	男	肺結核	胸痛	
4類	つつが虫病	日南	70歳代	男	—	頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発疹	
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	40歳代	男	B型	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、関節痛	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	50歳代	男	—	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎	
			60歳代	女	—	腎不全、DIC、軟部組織炎	
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱	
	百日咳	都城	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
			高鍋	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
				10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
日向			5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は3,808人(定点当たり75.4)で、前週比111%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は水痘である。

《前週との比較》



★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

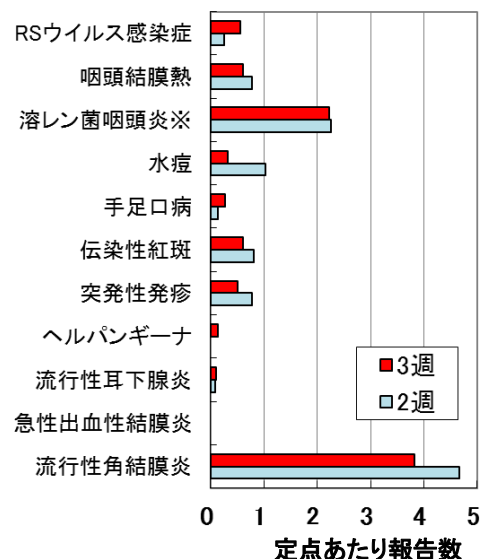
【インフルエンザ】

報告数は3,187人(55.0)で、前週比124%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(45.0)の約1.2倍である。高千穂(83.5)、小林(69.6)、中央(67.5)、都城(65.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約5割を占めている。

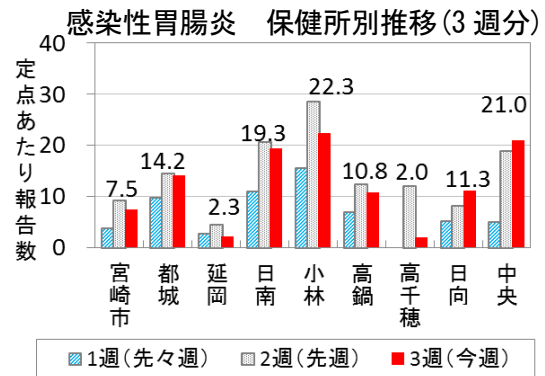
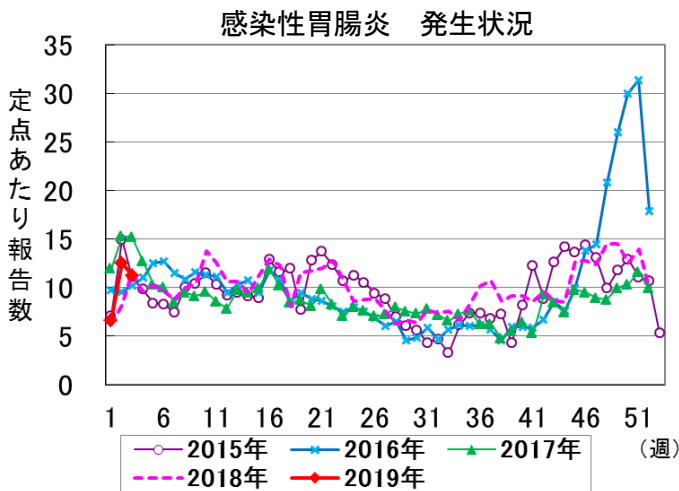
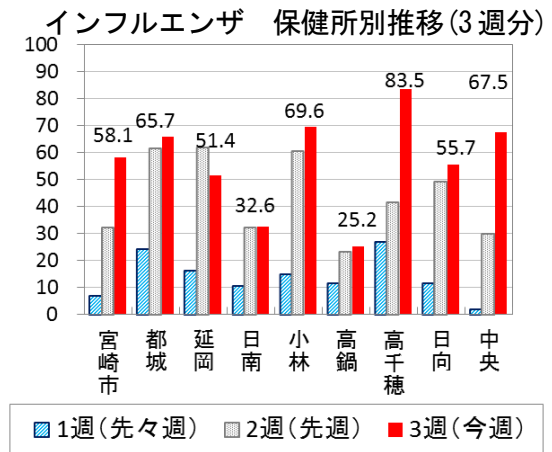
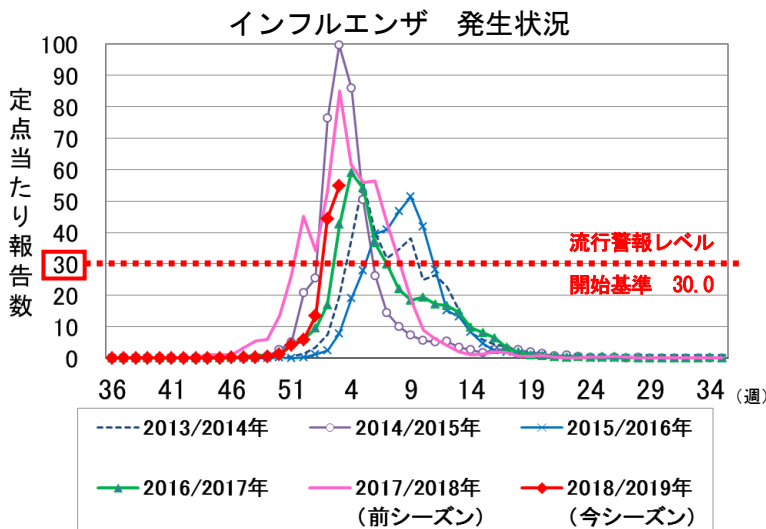
【感染性胃腸炎】

報告数は405人(11.3)で、前週比90%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値*(12.0)の約0.9倍である。小林(22.3)、中央(21.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~2歳が全体の約3割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(58.1)
都城	インフルエンザ(65.7)
延岡	インフルエンザ(51.4)
日南	インフルエンザ(32.6),伝染性紅斑(3.3)
小林	インフルエンザ(69.6),感染性胃腸炎(22.3)
高鍋	インフルエンザ(25.2)
高千穂	インフルエンザ(83.5)
日向	インフルエンザ(55.7),水痘(1.3)
中央	インフルエンザ(67.5),感染性胃腸炎(21.0),水痘(1.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(1.0)

✚ 全国 2019 年第 2 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 2 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	315 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	35 例				
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	24 例	オウム病	1 例
	つつが虫病	8 例	デング熱	12 例	レジオネラ症	24 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例
	急性弛緩性麻痺	3 例	急性脳炎	14 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	80 例	梅毒	58 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	239 例
	風しん	92 例	麻しん	38 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 231%と増加した(年末年始含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、伝染性紅斑及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は特になし。

インフルエンザの報告数は 190,527 人(38.5)で前週比 236%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(18.5)の約 2.1 倍である。愛知県(75.4)、熊本県(58.8)、岐阜県(54.0)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 4 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 3,147 人(1.0)で前週比 263%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.28)の約 3.6 倍である。宮城県(5.6)、新潟県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では 3~6 歳が全体の約 6 割を占めている。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,619 人(2.1)で前週比 256%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約 1.2 倍である。石川県(5.1)、鳥取県(4.5)からの報告が多く、年齢群別では 4~7 歳が全体の約 5 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第03週(01月14日～01月20日)

疾病名		第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2577	3187	872	657	360	163	348	151	167	334	135
	定点あたり	44.43	54.95	58.13	65.70	51.43	32.60	69.60	25.17	83.50	55.67	67.50
RSウイルス 感染症	報告数	9	20	6	7	4		1		1	1	
	定点あたり	0.25	0.56	0.60	1.17	1.00	0.00	0.33	0.00	1.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	22	3	3	4	4		4		4	
	定点あたり	0.78	0.61	0.30	0.50	1.00	1.33	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	81	80	21	11	14	9	2	9		13	1
	定点あたり	2.25	2.22	2.10	1.83	3.50	3.00	0.67	2.25	0.00	3.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	451	405	75	85	9	58	67	43	2	45	21
	定点あたり	12.53	11.25	7.50	14.17	2.25	19.33	22.33	10.75	2.00	11.25	21.00
水痘	報告数	37	12	1	2	2		1			5	1
	定点あたり	1.03	0.33	0.10	0.33	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	1.25	1.00
手足口病	報告数	5	10	1	3	1	5					
	定点あたり	0.14	0.28	0.10	0.50	0.25	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	29	22	8	1	2	10					1
	定点あたり	0.81	0.61	0.80	0.17	0.50	3.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	28	18	8	2		2	4	1		1	
	定点あたり	0.78	0.50	0.80	0.33	0.00	0.67	1.33	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		5	1	3						1	
	定点あたり	0.00	0.14	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	4		1		2	1				
	定点あたり	0.08	0.11	0.00	0.17	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	28	23	19			4					
	定点あたり	4.67	3.83	6.33	0.00		4.00					
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～3週)

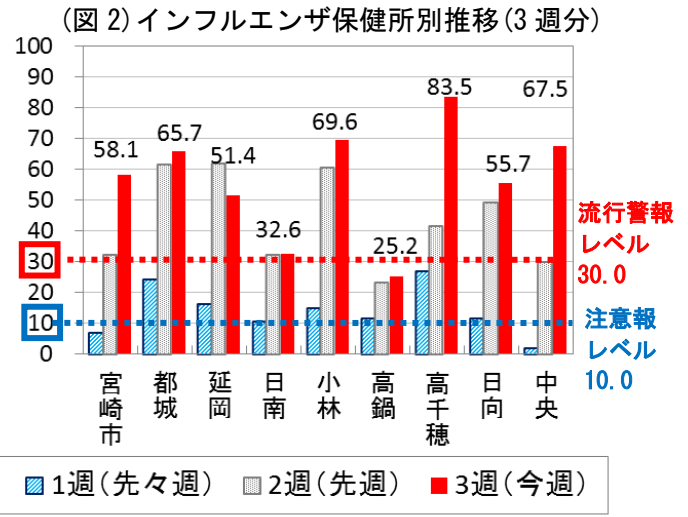
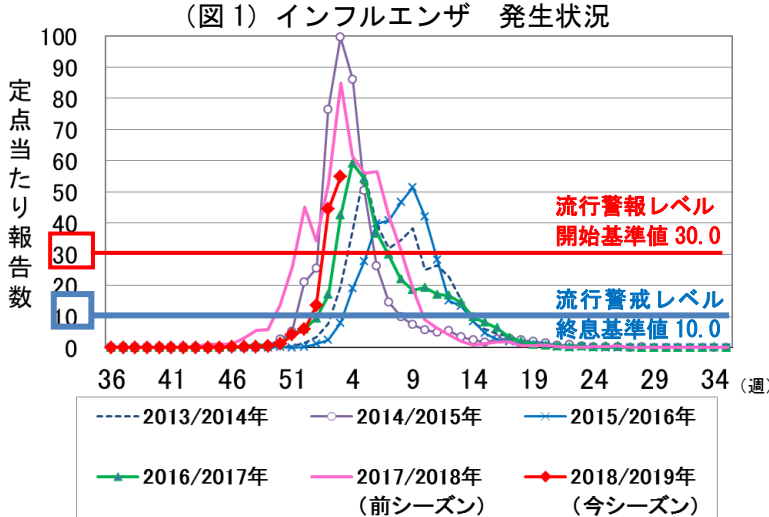
2類感染症	結核	7例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	つつが虫病	2例(1)			
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例(2)	侵襲性肺炎球菌感染症
	百日咳	15例(5)			1例(1)

()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第3週、全国第2週（再掲）》

□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

2019年1月14日～1月20日までの1週間で3,187人（55.0）の報告があった。前週の約1.2倍と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*（45.0）の約1.2倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の24%、5-9歳が26%、10-14歳が17%、15-19歳が5%、20-59歳が20%、60歳以上が8%を占めている（図3）。 * 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

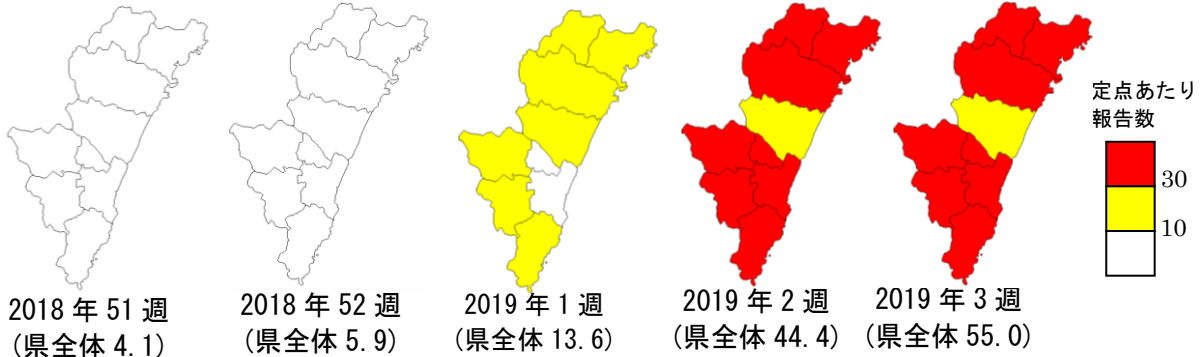


(図3) 年齢群別割合の推移(2018年第51週～2019年第3週)

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
51週 242人	21%	41%	10%	4%	17%	7%
52週 345人	20%	32%	18%	5%	19%	6%
1週 787人	22%	17%	11%	7%	36%	7%
2週 2,577人	21%	24%	17%	5%	25%	8%
3週 3,187人	24%	26%	17%	5%	20%	8%

□ 5歳未満 ■ 5～9歳 ▨ 10～14歳 ■ 15～19歳 ▨ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2018年第51週～2019年第3週



□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

2019年1月7日～1月13日までの1週間で190,527人（38.5）の報告があり、前週の約2.4倍と増加した。愛知県(75.4)、熊本県(58.8)、岐阜県(54.0)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が22%、10-14歳が12%、15-19歳が5%、20-59歳が30%、60歳以上が11%である。